

安全データシート(SDS)

作成日 2018年 4月 13日
改定日 年 月 日

1. 製品等及び会社情報

製品名(商品名等) : 中輝度蓄光テープJB
会社情報
販売元 : 日東エルマテリアル株式会社
住所 : 532-0011大阪府大阪市淀川区西中島四丁目3-24
サムティ新大阪センタービル5階
担当部門 : 製品管理部 品質保証グループ
電話番号 : 06-6101-0771 FAX番号 : 06-6101-0775

2. 危険性有害性の要約

最重要危険有害性
有害性 : 作業環境の許容濃度は設定されていないが、製品屑の場合は、多量且つ長時間吸入すると塵肺に罹る恐れがある。
環境影響 : 特になし。
物理的及化学的危険性 : 特になし。但し、可燃物であり着火源があれば燃える。
特定の危険有害性 : 特になし。
GHS分類 : 対象外(成形品)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 製品(成形品)
化学名 : 蓄光テープ

成分	含有量(%)	PRTR対象
PETフィルム	13	該当せず
ポリエステル樹脂	12	該当せず
ポリウレタン樹脂	13	該当せず
蓄光顔料	37	該当せず
アクリル系粘着剤	11	該当せず
離型紙	14	該当せず

4. 応急処置

吸入した場合 : 製品屑の場合は、新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかみ、うがいをさせる。大量に吸入した場合は、専門医の処置を受ける。
皮膚に付着した場合 : 製品屑の場合は、触れた部分を水と石鹸でよく洗浄する。
眼に入った場合 : 製品屑の場合は、大量の流水で15分以上洗顔を、刺激が続く場合は専門医の処置を受ける。
飲み込んだ場合 : 製品屑の場合は、水でよく口の中を洗浄する。水、ミルクなどを飲ませて吐き出させ、直に医師の処置を受ける

5. 火災時の措置

消化剤 : 粉末、泡、大量の水。
消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。保護具着用のこと。

6. 漏出時の措置

- 人体に関する注意事項 : 製品屑の場合、多量且つ長時間吸入すると、塵肺に罹る恐れがある。
除去方法 : 製品屑の場合、かき集めるか、掃除機で集めて廃棄する。
環境に対する注意事項 : 出来る限り「除去方法」に従って回収し、排水、土壌等への拡散流出を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱い注意事項 : 加工中に強力な静電気を発生することがあるため、加工機には適した静電気除去装置を設置する必要がある。
注意事項 : 製品屑を扱う場合は、保護眼鏡、保護防塵マスク、保護手袋などの着用が望ましい。

保管

- 技術的対策 : 粘着物なので、高温、多湿を避ける。
保管条件 : 高温、多湿、水漏れ、直射日光、結露を避け、常温、常湿の室内倉庫にて保管する。また重量物なので荷崩れを防止し、火気から遠ざける。
容器包装材料 : 推奨される容器は、ダンボール箱（ポリ袋入り）である。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 特になし。
管理濃度 : 設定されていない。¹⁾
許容濃度 : 設定されていない。
保護具
呼吸器用保護具 : 製品屑の場合は、防塵マスクの使用が望ましい。
目の保護具 : 製品屑の場合は、保護眼鏡の使用が望ましい。
手の保護具 : 製品先端が鋭くなり易いため、保護手袋の使用が望ましい。
皮膚及び体の保護具 : 製品屑の場合は、保護手袋や作業衣の使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態
形状 : プラスチック淡黄色フィルム
色 : 淡黄色
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲 :
融点 : 表面（フィルム面）220℃
沸点 : 設定されていない。
引火点 : 設定されていない。
爆発特性 : 設定されていない。
比重(相対密度) : データなし。
水に対する溶解性 : 不溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 安定で反応性に乏しい。
特定条件下で生じる危険な反応
避けるべき条件 : 特になし。
避けるべき材料 : 特になし。

1 1. 有害性情報

- 急性毒性 : 知見なし。但し、PETはFDAの許可申請の際に、Du Pon社が提出した“ラット及びマウスに対する90日間の飼育試験報告書“によれば、雌雄のラット及びマウスに対し、PETを10%含有する飼料を自由摂取させて3ヶ月間飼育したところ自由摂取させて3ヶ月間飼育したところ、栄養状態は清浄で、血液及び尿の検査、病理学的検査においても異常は認められなかったとしている。²⁾
- 局所効果³⁾ :
- 吸入 : 製品屑を多量且つ長時間吸入すると、塵肺になる恐れがある。
- 皮膚接触 : 製品屑を多量且つ長時間皮膚接触すると、粘膜を刺激し炎症を起こす時がある。
- 目の接触 : 製品屑を多量、目に接触すると、粘膜を刺激し炎症を起こし場合によっては角膜に傷ができ視力を著しく害する危険性がある。
- 摂取 : 知見なし

1 2. 環境影響情報

情報がまだ得られていない。

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 産廃処理業者に、内容を明確にして処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

必要に応じた梱包を行い破損しないよう、水に濡れないように取り扱う。
また、重量物のため荷崩れ防止に注意する。

国連分類及び国連番号 : 該当せず。

1 5. 適用法令

- 安衛法通知対象物質 : 非該当
特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法) : 非該当
- 毒性及び劇物取締法 : 非該当
- 消防法 : 非該当
- 船舶安全法 : 非該当
- その他 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
(産業廃棄物、廃プラスチック類)
食品衛生法

1 6. その他の情報

- 引用文献 : 1) 労働省告示第26号(1995. 3. 27)
2) 食品用プラスチック衛生学 厚生省環境衛生局
食品化学課編(講談社)P218

3) 新金属工業、レア・アース(希土類)、Vol. 6、127-137、
鈴木間左支(1974)

記載内容についてのご注意

記載内容のうち、含有量や物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意してください。